

有馬記念館年報 第8号

令和3（2021）年度

令和4年12月
公益財団法人有馬記念館保存会

ごあいさつ

有馬記念館は、昭和34年（1959）の久留米市制70周年を記念しまして、石橋正二郎氏（株式会社ブリヂストン社長・当時）より施設を寄贈され、昭和35年に開館、その後久留米の郷土資料館として親しまれてきました。

久留米市政120周年と石橋正二郎氏生誕120周年を記念して、平成21年度に耐震補強やバリアフリー等の大規模改修工事を行い、平成22年11月28日にリニューアル・オープンしました。

以来、特別展や企画展などの数々の展示会を開催し、大名有馬家や久留米藩ゆかりの歴史資料・美術工芸品を公開してまいりました。

令和3年（2021）は、久留米藩初代藩主の有馬豊氏公が久留米城に入城して400年という節目の年であり、記念のロゴマーク制作や特設のホームページ開設等を通して、入城400年の機運醸成に努めました。

一方で、令和3年5月12日から6月20日までと、8月21日から9月30日までの期間を新型コロナウイルス感染症拡大防止のために臨時休館となりました。

そのような状況下でも、平成22年のリニューアル・オープン以降12年目を迎える令和3年度末までに延べ93,694人にご来館いただきました。今後も、郷土資料の収集及び調査、公開を進め、展示事業を中心に久留米の歴史文化の周知普及に努めてまいります。

また、当館事業の周知の一環として、平成27年度に年報を創刊し、このたび第8号を発行することとなりました。年報を通して当館の活動を知っていただき、今後ともご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年12月28日

公益財団法人有馬記念館保存会
会長 竹村 政高

目次

I 有馬記念館の概要	1
1. 施設の設置	1
2. 施設の管理	1
3. 施設の概要	1
4. 運営	2
5. 予算	3
6. 開館時間	3
7. 入館料	3
II 令和3年度事業の概要	4
1. 展示	4
2. 広報	7
3. 教育普及	9
4. 資料の収集	9
5. 収蔵資料の活用状況	10
6. 入館者数	11

I. 有馬記念館の概要

1. 施設の設置

有馬記念館は、昭和 34 年(1959)の久留米市制 70 周年を記念して、昭和 35 年に郷土資料の調査・研究を目的に、当時の株式会社ブリヂストン社長・石橋正二郎氏より寄贈されたものである。

その後、久留米市制 120 周年及び石橋正二郎氏生誕 120 年にあたる平成 21 年度より改修工事を行い、翌平成 22 年 11 月にリニューアル・オープンした。

2. 施設の管理

公益財団法人有馬記念館保存会事務局（久留米市市民文化部文化財保護課内）

※有馬記念館と東郷記念館の維持管理、郷土資料の一般公開展示にあたることを目的として、昭和 38 年 7 月 1 日、財団法人有馬記念館保存会を設立。

その後、福岡県知事より公益財団法人の認定を受け、平成 24 年 4 月 1 日より公益財団法人に移行した。

なお、定款に定める事業内容は次のとおりである。

- (1) 郷土資料の公開展示
- (2) 郷土資料に関する史料の収集及び調査研究
- (3) 郷土資料の保存管理
- (4) 有馬記念館及び東郷記念館の維持管理
- (5) その他目的を達成するために必要な事業

3. 施設の概要

所在地 福岡県久留米市篠山町 444 番地

建築面積 492.9㎡

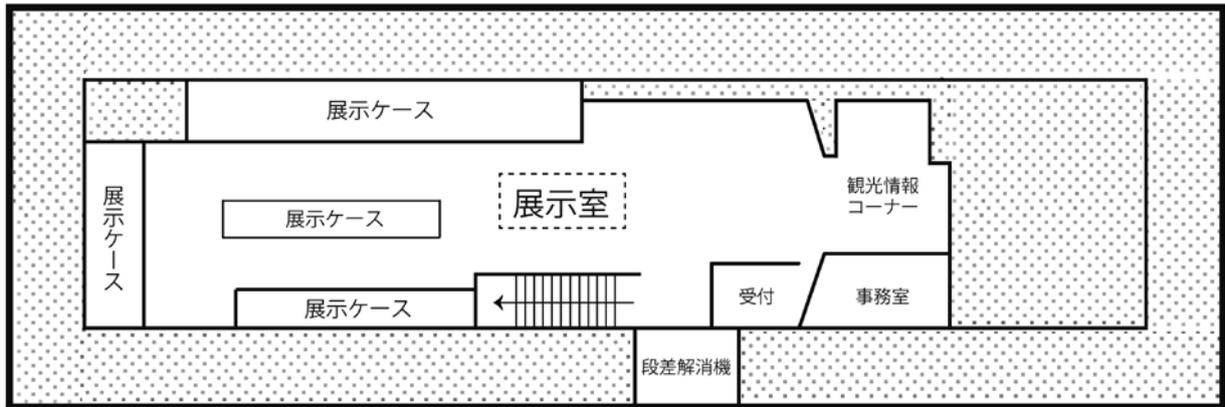
構造 鉄筋コンクリート造 2階建

竣工 昭和 35 年 3 月 28 日（平成 22 年度有馬記念館内外部改修・耐震改修工事实施）



有馬記念館 外観

有馬記念館展示室（2階）平面図



4. 運営

公益財団法人有馬記念館保存会

役員名	氏名	所属
会長	竹村 政高	久留米市市民文化部長
副会長	本村 康人	久留米商工会議所会頭
常務理事	深堀 尚子	久留米市市民文化部次長
理事	山田 茂人	篠山神社宮司
理事	永田 見生	久留米大学理事長
理事	澤田 裕介	株式会社ブリヂストン九州生産部門総務部長
監事	古江 寿則	株式会社福岡銀行執行常務役員・県南地区本部長
監事	大久保 隆	久留米市会計管理者

評議員	中島 年隆	久留米市副市長
評議員	樋口 一成	久留米郷土研究会代表
評議員	河北 宣正	篠山神社総代
評議員	柴尾 俊哉	公益財団法人久留米観光コンベンション国際交流協会常務理事
評議員	埴田 恒久	株式会社ブリヂストン九州生産部門総務部総務課長

・事務局

職名	氏名	所属
事務局長	水島 秀雄	久留米市市民文化部文化財保護課 課長
事務局次長	白木 守	同 課長補佐
書記	中山 景子	同 課長補佐 (文化振興課兼務)
書記	岡崎 明美	同 事務主査
書記	神保 公久	同 主任主事
書記	穴井 綾香	同 主任主事
書記	内堀 一弘	同 主任主事
書記	大塚 麻理子	同 主任主事

(令和4年3月31日現在)

5. 予算

経常収益費計 17,073,408 円

経常費用計 17,080,539 円

6. 開館時間

開館時間 10:00～17:00 (但し、入館は16:30まで)

休館日 毎週火曜日 (火曜日が祝祭日の場合はその翌平日)

年末年始・展示替期間

7. 入館料

- ・一般 210 円 (150 円) 高校生以下無料 ※ () 内は 15 名以上の団体料金
- ・身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳の交付を受けている方及びその介護者 1 名は無料
- ・その他の減免制度あり



Ⅱ. 令和3年度事業の概要

1. 展示

2021年、有馬豊氏が初代藩主として初めて久留米城に入城してから、400年の節目を迎えた。これを記念し、久留米入城400年記念企画展を、テーマ別に3回開催した。

(1) 第1回企画展「久留米藩主有馬家歴代」

会 期 令和3年4月17日(土)～8月2日(月)

内 容 有馬家は江戸時代を通しておよそ250年間、11代にわたり久留米藩21万石を治め、城下町の整備や産業の奨励など、現在の久留米の礎を築いた。

本展では、久留米藩政のトップであるとともに、茶人、和算研究家、愛犬家など、バラエティに富んだ歴代藩主の功績やエピソードを、有馬家ゆかりの作品や歴史資料を通して紹介した。展示総数36点。



展示風景

(2) 第2回企画展「有馬の城づくり、町づくり」

会 期 令和3年8月14日(土)～11月29日(月)

内 容 現在の都市・久留米は、今から400年前、久留米藩初代藩主有馬豊氏の入国を機に築かれた久留米城と、江戸時代を通して整備・改造された城下町を継承し、発展を遂げてきた。

本展では、豊氏が構想し、藩主4代約80年にわたる大事業となった久留米城とその城下町の整備の歴史について、絵図や記録などの歴史資料を通して紹介した。展示総数21点。



展示風景

(3) 第3回企画展「久留米藩領文化 - 祈りのかたち・風雅のこころ - 」

会 期 令和3年12月11日(土)～令和4年4月4日(月)

内 容 今から400年前、有馬豊氏が久留米城入りして以降、久留米藩領内では、歴代藩主によって領内の安定と経済の発展が図られるとともに、大名家の格式にふさわしい文化が形づくられていった。

本展では、茶道や詩歌に優れた大名有馬家の側面を伝える書画や工芸のほか、その帰依を受けた寺社に伝わる資料を公開し、有馬家が治めた約250年の間に、久留米藩領内で花開いた様々な文化の姿を紹介した。展示総数27点。



展示風景

2. 広報

(1) 広報活動

◆印刷物

年間スケジュールリーフレット

各企画展のポスター・チラシの製作・配布（3回）

◆ホームページ及び facebook

企画展や関連イベントの案内、開館情報、入城 400 年記念関連情報等を随時更新

(2) 報道記事

掲載月日	掲載紙等	内 容
4月19日	西日本新聞 朝刊	久留米藩歴代藩主像を紹介
6月25日	両丹日日新聞 朝刊	丹波福知山から九州へ 有馬豊氏久留米入城 400 年
7月27日	朝日新聞 朝刊	久留米の殿さま 個性豊かな資料
10月6日	西日本新聞 朝刊	久留米城と城下町の歴史をたどる 有馬記念館で企画展
1月17日	神社新報	久留米藩の文化概観する企画展
1月26日	西日本新聞 朝刊	久留米藩の文化を見つめる 有馬記念館で企画展 書画や工芸品 27 点
3月31日	読売新聞 朝刊	久留米藩領で花開いた文化 茶入れや絵巻 25 点

(3) 展示・イベント情報掲載紙

◆雑誌等

SECOND ノーマ・ジーン ご当地新聞くるめすたいる HOTPEPPER ほとめき

POTARI 久留米広域圏イベントカレンダー 月間はかた 久留米法人会だより

◆地方公共団体広報紙

広報くるめ

(4) サイン改修

久留米城跡内に設置されている城内案内サインの改修（2ヶ所）

(5) 久留米入城 400 年関連

令和 3 年（2021）に久留米藩初代藩主有馬豊氏の久留米入城 400 年という節目を迎えるにあたり、その機運を醸成し、久留米の歴史文化に対する関心を高めるため、多様な取組みを行った。

①ロゴマークの活用

前年度に作成した 400 年記念ロゴマークの利用普及に努めた。使用については公益財団法人有馬記念館保存会への事前申請は必要としたが、より多くの方に利用してもらうため、使用料は無料とした。その結果、広報紙、各種文書内、封筒、商品や包装の印刷などに幅広く利用された。



ロゴマーク

②オリジナルグッズの作成



トートバッグ



缶バッヂ

③地元企業との連携

ロゴを使用した商品として、久留米おはじき、和ロウソク、水引ブローチ、匂い袋、お香、城島瓦家紋入文鎮の受託販売を行った。



地元企業商品

④公式ホームページでの広報

有馬記念館ホームページ内に特集ページを設け、400 年に関連した記事、関連行事及び記念グッズの紹介を掲載し、広報に努めた。

3. 教育普及

◆学校見学受入れ

- 7月20日 久留米大学（24名）
- 11月22日 久留米大学（19名）
- 1月20日 久留米市立青木小学校（27名）
- 2月24日 久留米市立篠山小学校（66名）

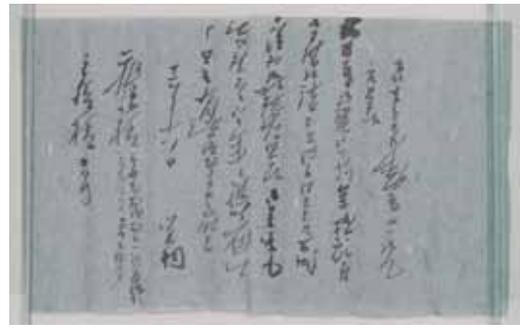
4. 資料の収集

◆久留米藩家老有馬（吉田）家文書

当史料群は、有馬頼底氏が古書肆より入手され、令和3年5月25日付けで当財団に寄贈された。数量は241通及び4枚で、内容は主に江戸時代後期の久留米藩家老・有馬昌長（1822～1868、河内、監物）が他の家老宛てに発給した廻状と、領内各町村の様子を報じる「言上」類に分かれる。

有馬昌長は、本姓吉田氏、織部照長の長子として生まれた。11代藩主有馬頼咸と12代將軍徳川家慶の養女・精姫（実は有栖川宮韶仁親王の女）との婚儀ではその準備の責任者として指揮にあたり、また藩内尊攘派との政争を制して富国強兵策を進めた。

当史料群は、家老廻状が回覧後に発給者の下に戻されていることなどから、久留米藩家老有馬（吉田）家の旧蔵と見られ、平成28年度に同じく頼底氏より寄贈を受けた「久留米藩家老有馬織部関係文書」全29通と元は一体であったと推量される。



寄贈資料（一部）

5. 収蔵資料の活用状況

◆印刷物掲載

許可日	申請者	目的	内容
4月8日	NORMA JEAN	特集記事に使用	有馬豊氏肖像他8点
5月26日	東京都港区立郷土資料館	特別展図録に掲載	小直衣雛他7点
6月11日	久留米生涯学習推進市民会議	広報誌への掲載	有馬豊氏肖像
7月16日	(株)VSQ制作部	テレビ番組で使用	有馬頼寧写真
7月30日	西日本新聞	新聞連載記事で使用	有馬豊氏肖像
8月12日	久留米市	サンバイザー作製のため	鉄錆地紺糸緞五枚 胴具足
8月20日	小都市教育委員会	冊子に掲載	有馬豊氏肖像他2点
8月27日	読売新聞西部本社	新聞連載記事で使用	拾磯算法
9月29日	久留米市教育委員会	ホームページに使用	賞状
10月20日	九州北部税理士会 久留米支部	会報内特集記事に使用	有馬豊氏肖像
11月3日	久留米市	記念展パネル作成	有馬頼寧写真
11月29日	久留米市教育委員会	広報誌への掲載	有馬頼咸肖像
1月5日	(株)パスコ	遺跡調査報告書内挿図等	屋敷中屋敷下屋敷御領 地絵図御上屋敷惣絵図
1月5日	個人(撮影)	近世武家地研究に使用	御家中家譜 中小姓御徒士略系図
2月15日	個人(撮影)	有馬家研究に使用	負債調書他112点

6. 入館者数

(1) 令和3年度 入館者数（企画展別）

展示会名	開館日数	入館者数（人）		
		有料	無料	合計
第1回企画展「久留米藩主有馬家歴代」	56	920	334	1,254
第2回企画展「有馬の城づくり、町づくり」	57	922	396	1,318
第3回企画展「久留米藩領文化 - 祈りのかたち、風雅のこころ - 」	91	1,255	530	1,785

(2) リニューアル・オープン～令和3年度 入館者数（年度別）

年度	H22(※1)	H23	H24	H25	H26	H27
入館者数（人）	4,375	11,264	28,148	5,605	5,388	6,578
展示会数	企画展2	特別展1 企画展3 常設展3	特別展1 企画展1 常設展3	企画展2 常設展2	企画展3	企画展4
年度	H28	H29	H30	R1(※2)	R2(※3)	R3(※4)
入館者数（人）	8,846	6,116	6,252	3,401	3,364	4,357
展示会数	特別展1 企画展3	企画展4	企画展3	企画展3	企画展3	企画展3

※1 11月28日リニューアル・オープン以降

※2 3月7日から31日まで新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館

※3 4月1日から5月31日まで新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館

※4 5月12日から6月20日及び8月21日から9月30日まで新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館

(3) 協賛事業

久留米城跡や近隣で開催されるイベントと連携することにより、各種イベントへの参加者を有馬記念館へ誘導するような取組みを行った。また、状況に応じて開館時間の延長や入館料を無料にするなどの措置を講じた。

例年、主な協賛事業としては、つつじマーチ（4月）、鈴虫まつり（8月）、BS通りさくらまつり（3月）、サイクルチャレンジくるめ（時期不定）などがあるが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部の事業が中止、もしくは縮小されたこともあり、十分な取組みには至らなかった。

有馬記念館年報 第8号

令和3（2021）年度

令和4年12月28日

発行 公益財団法人有馬記念館保存会
福岡県久留米市篠山町 444

印刷 香和印刷株式会社
